

平成31年度 全国学力・学習状況調査結果の活用について

県総合教育センター学力調査部

1 全国学力・学習状況調査について

4月18日(木)に平成31年度全国学力・学習状況調査が実施されました。県内の調査実施校は、公立小学校781校(670校)、公立中学校383校(328校)の合計1,164校(998校)です。調査内容は、教科に関する調査と生活習慣や学習環境に関する質問紙調査です。()内は千葉市を除いた数です。

従来はA問題(知識)及びB問題(活用)の形式であったものが、今年度から一体化され、記述式の問題が一定割合で導入されました。英語は「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「話すこと」に関する問題が出題されました。

2 教科に関する調査結果

<小学校>	千葉県	全国
国語	63(63)	63.8
算数	66(65)	66.6
<中学校>	千葉県	全国
国語	72(72)	72.8
数学	58(57)	59.8
英語	56(55)	56.0
【参考】英語(話すこと)		30.8

※数値は公立学校の平均正答率(%)です。ただし、文部科学省の発表に基づき、全国平均正答率は小数第1位まで、県平均正答率は小数点以下を四捨五入した結果を示しています。

※()内は、千葉市を除いた割合です。

※中学校英語調査の結果は、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の合計を集計。学校PC端末等を利用し実施した「話すこと」は、英語とは実施生徒数が異なるため「参考値」として集計。

3 指導改善サイクルの確立を目指して

本調査の目的は、大きくは三つです。

- (1)国の教育施策の成果・課題の検証
- (2)学校における指導の充実・改善
- (3)継続的な検証改善サイクルの確立

結果を活用した指導の充実、授業改善への取組が求められています。本調査の問題を確認すると、学習指導要領に示された身に付けるべき学力について知ることができます。

本調査の意味を理解し、活用を推進することが、学力向上に向けた取組に繋がります。

4 学校全体の『指導改善』に向けて

以下の資料を活用し、全国学力・学習状況調査の分析を進めてください。

(1)県の分析ツール

分析ツールを使用すると以下の三つのシートを作成できます。分析結果から学校の強みを伸ばすこと、つまづきを改善したり、未然に防いだりすることができます。

①教科・質問紙分析シート

(レーダーチャートを使った分析)

②誤答分析シート

(各教科、設問ごとの誤答分析など)

③クロス集計シート

(生活習慣や学力習慣と学力の関係)

(2)文部科学省が発行している報告書

設問ごとに「分析結果と課題」「学習指導に当たって」という項目があり、今後の指導方法を考える際のヒントが書かれています。分析を進め、各校の実態に即した指導改善サイクルの確立と授業実践に取り組みましょう。

(3)調査結果データから得られる情報

文部科学省から各学校に配付されたDVD中の学校別回答状況整理表(S-P表)を活用すると、学級集団の状況を把握した指導と個に応じたきめ細かな指導の実現を目指せます。集団指導から一歩進んだ個別指導の手がかりとしてご活用ください。

研究発表会ご案内

千葉の子どもたちの未来のために ～資質・能力の育成をめざして～

日時 令和2年2月21日(金) 9:20～16:30
(全体会 受付9:00～9:15)

会場 千葉県総合教育センター

全体講演 9:30～11:10

ICT をど真ん中においた1人1台端末の活用と学校経営
—Society5.0の時代の経営モデル(MDM—MAZDA Disrupt Model)—
MAZDA Incredible Lab 代表(前 小金井市立前原小学校校長)
松田 孝 氏



研究発表等 11:20～12:20 13:20～16:30

研究発表Ⅰ
児童生徒が自己の変容に気づき、資質・能力
を伸ばすための指導方法と評価方法の在り方
【カリキュラム開発部 科学技術教育担当】

研究発表Ⅴ
これからの時代に生きる教員を育てる教員研
修の在り方に関する研究
【カリキュラム開発部 研究開発担当】

研究発表Ⅱ
高等学校における探究活動に関する研究
～総合的な探究の時間を通して～
【カリキュラム開発部 研究開発担当】

研究発表Ⅵ
障害のある児童生徒が自立と社会参加するた
めに必要な資質・能力を育成するためのカリ
キュラム・マネジメントに関する研究
～障害種の異なる特別支援学校の実践から～
【特別支援教育部】

全国学力・学習状況調査の報告【学力調査部】

研究発表Ⅲ
高等学校の新教科「理数科」に関する研究
【カリキュラム開発部 科学技術教育担当】

研究発表Ⅶ
各教科等の特性に応じたプログラミング教育
の指導法に関する研究
【カリキュラム開発部 メディア教育担当】

研究発表Ⅳ
不登校生徒の支援に向けた校内体制の充実の
ために
【子どもと親のサポートセンター 支援事業部】

ポスターセッション
分科会に分かれ、研究協議を行います。

各研究発表の詳しい内容や時程等につきましては、別紙案内チラシおよび千葉県総合教育センター Web サイトにて御確認ください。

地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)研修講座について

県教育庁教育振興部生涯学習課学校・家庭・地域連携室

千葉県では地域学校協働活動を推進しています。「地域学校協働活動」とは、地域の高齢者、保護者、民間企業、団体等の幅広い地域住民等の協力を得て、地域全体で子供たちの学びを支えるとともに地域の活性化を目指して、地域と学校が連携・協働して行う活動です。

例えば、地域住民による採点補助、登下校の見守り、部活動支援、放課後の子供たちの安心安全な居場所と多様な体験の場となる「放課後子供教室」等が挙げられます。

また、学校から地域への貢献活動として、地域のお祭りなどの行事やボランティア活動に子供たちが参画するといった活動も活発に行われています。



地域学校協働活動のイメージ

こうした地域学校協働活動の推進役となるのが「地域学校協働推進員(以下、推進員。)」です。地域によっては「地域コーディネーター」等と呼ぶ場合もあります。推進員は、学校の要望を受け、活動を企画調整し、地域ボランティアを募り、実際の活動へとつなげていく大切な役割を担っています。

本県では、地域学校協働活動推進のキーパーソンとなるこの推進員を育成するため、「地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)研修講座」を毎年3期に分けて開催しています。

1期は、「地域学校協働本部」と「放課後子供教室」をそれぞれベーシック編とアドバンス編に分け計4回開催し、131名の参加がありました。「先輩から学ぶ」と題してベテランの推進員から実践発表を聴いたり、グループでのワークショップに参加したりして、推進員としての知識や技術の向上を図るとともに参加者同士のネットワークを深めました。

2期は、実際の活動を参観し、運営方法や活動の工夫等を学ぶ機会を提供しました。



H30 大網白里市・季美の森小学校放課後子供教室の参観

まとめとなる3期は、135名の参加者があり、全国体験活動ボランティア活動総合推進センターの橋本洋光氏を講師に、「地域学校協働活動の推進に向けて」の演題で御講演いただきました。その後、成田市、鴨川市、八千代市、野田市の実践発表に続き、最後にグループ協議を行い、今年度の研修のまとめとしました。

講座の様子について詳しくは、『千葉県 地域学校協働活動推進員研修講座』で検索ください。

誰でも読める本や情報を

～「りんごの棚」とバリアフリー図書～

県立中央図書館

県立中央図書館児童資料室では、バリアフリー図書の普及を目指して、2018年10月に「りんごの棚」を設置しました。活字の本が読みにくい子に、「こんな本ならどう？」と提案するコーナーです。

どのような資料やサービスがあるかご紹介いたします。

1 資料紹介

(1)点訳絵本・さわる絵本

点訳絵本は、視覚障害をもつ大人が子供に読み聞かせられるよう、文字の部分に透明の点字シートを貼ってあります。

さわる絵本は、指でさわって挿絵や文字が分かるように凹凸がついています。挿絵の色は縞やドットなど模様の凹凸で表現しており、その素材は様々です。

(2)大活字本

弱視の方のために、大きな活字で印刷された本です。見やすさを重視して、字の形もゴシック体などを使っています。

(3)LLブック

LLとはスウェーデン語の「Lättläst」（やさしく読みやすい）を略したものです。ピクトグラムや簡単な言葉を組み合わせて、読みやすいように作られています。物語のほか、防災などの知識の本もあります。

(4)DAISY（デイジー）

視覚障害、識字障害や学習障害のある方、また肢体不自由等、印刷された図書を読むのが困難な方のための電子図書の国際標準規格で、デジタル・アクセシブル・インフォメーション・システムの略です。

本をデジタル化して音声で収録した音声デイジーと、音声や画像、テキストなどを組み合わせたマルチメディアデイジーがあります。パソコンやスマートフォンなどの電子機器を使って読むことができます。

基本的には活字による読書が困難な方のためのサービスですが、なかにはどなたにも使っていただける資料もあり、市町村図書館等を通じての利用も可能です。

なお、日本障害者リハビリテーション協会では、学校や教育委員会から申請を受けて、「マルチメディアデイジー教科書」を提供しています。

2 利用案内

県立学校の場合は、県立図書館に直接貸出申込ができます。市町村立の小・中学校は、お近くの図書館にお問合せください。県立図書館から市町村図書館への貸出を行っています。

DAISYの利用については、県立図書館へお問合せください。

県立図書館のWebサイトでも情報提供をしています。

（りんごの棚）

<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/kids/ringoshelf.html>

（障害者サービス）

<https://www.library.pref.chiba.lg.jp/guide/handicap/index.html>

〔この件に関する問合せ先〕

県立中央図書館 児童資料室
TEL 043-222-0116（代）